

の交通安全市民運動・安全なまちづくり県民運動

春の交通安全市民運動 4月6日(火)～15日(木)

新年度を迎え、新1年生となった児童・生徒や新社会人の姿を見かけるようになります。この時期は、不慣れな交通環境での通学・通勤や、気候が良くなることによる外出機会の増加等により、交通事故の発生が心配されます。

一人ひとりが交通ルールの遵守と正しい交通マナーを実践し、交通事故の防止に努めましょう。



運動重点

- 子どもと高齢者をはじめとする歩行者の安全の確保
- 自転車の安全利用の推進
- 歩行者等の保護をはじめとする安全運転意識の向上

新入学・新入園児を交通事故から守ろう

春は入園や入学で子ども達の行動範囲が大きく変わる時期です。大切な子どもの命を守るために、大人が手本となり交通ルールを守りましょう。

保護者の皆さんへ

小学生になると、歩行中や自転車運転中に事故に遭う危険性が高まります。幼児のうちから横断歩道の渡り方や自転車のルール等、基本的な交通ルールの説明や交通安全の声かけをお願いします。

運転者の皆さんへ

横断歩道は歩行者優先です。横断歩道を渡ろうとしている人がいたら、必ず一時停止。思いやりのある運転を心がけましょう。

春の安全なまちづくり 県民運動 4月1日(木)～10日(土)

本市の犯罪発生件数は、平成15年をピークに減少傾向にあります。空き巣・振り込め詐欺・自転車盗等、生活に身近な犯罪は現在も多く発生しています。被害に遭わないために、自分でできる対策をしっかりと取るとともに、周囲の人にも声かけをし、犯罪を寄せつけない地域づくりをしましょう。



空き巣に注意!

運動重点

●特殊詐欺の被害防止

電話の相手が「キャッシュカード」「暗証番号」と話したら、すぐに電話を切り、家族や警察署に相談する。万が一に備え、キャッシュカードの出金・振込限度額を引き下げる

●子どもの犯罪被害防止

外出時は防犯ブザーを携帯し、常に使用できる状態にしておく。いざという時に備え、「こども110番の家」等の逃げ込める場所を親子で確認する

ストップ! 特殊詐欺

高齢者を狙った特殊詐欺の手口を紹介します。

安城市内の高齢女性、 オレオレ詐欺で500万円の被害!!

2月、息子を名乗る男から電話があり、「会社の書類を無くしてしまった。公園に担当者が行くので500万円を渡し」という話を信じた女性は、受け渡し場所に現れた男にお金を渡してしまいました。



オレだけど、風邪みたい。
PCR検査は陰性だった。

会社の書類を無くしちゃったんだ。そのためにお金がいる。上司の両親もかなりのお金を用意してくれているんだ。

いきなり銀行に行っても多額なので下ろせないかもしれない。事前に銀行に予約の電話を入れてくれないかな。

他の家族にはオレから話しておくから。

❗ コロナ禍に乗じ、不安をあおる

❗ 「自分も用意しなくちゃ」と思わせる

❗ 出金の際、金融機関に怪しまれ警察に連絡をされないよう、事前電話をさせる

❗ 他の家族に相談させないように仕向けている

教訓 不審な電話があったら、家族や知人にまず相談!

問▶安城警察署(☎<76>0110)、市市民安全課(☎<71>2219)